

# 飯高タイムズ 212

ホームページはこちら ⇒ <http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/iidaxh/>

石川 飯田高校

で検索 🔍

## 第74回卒業証書授与式

「式辞」要旨

令和4(2022)年3月1日

校長 笹谷聰史

普通科 79 名、総合学科 40 名の皆さん、卒業おめでとう。本校で、精・慎・勤の校訓のもと、勉強や生徒会活動、部活動などに力を発揮し、後輩たちの道標（みちしるべ）となる足跡（そくせき）を残してくれました。改めて、この 3 年間の努力を称えたいと思います。

思い起こせば 2 年前の 2 月 28 日に臨時休校が始まり、今もウィルスは変異を繰り返しながら、全世界に感染が拡大しています。この式も今なお制約が多く卒業生、保護者、職員のみで執り行う形にならざるを得ない状況が続いています。

私は今、2 年以上続くコロナ禍の大混乱の中、「生きる」ことの意味を真剣に考えています。たくさん大切な命を失いましたが、生きていれば必ず道は開けると改めて実感しています。命の尊さです。この地球という惑星に生命が誕生して 40 億年、常に変化に適応しながら今の私たちがいます。

ウィルス感染拡大は、非常識・出来ないと思っていたことを常識へと激変させました。在宅勤務、オンライン会議は既に珍しいことではありません。教育界では ICT 活用が一気に進み遠隔授業も可能となり、本県でも 1 人 1 台端末が支給され、タブレット活用前提の授業スタイルが当たり前になります。会社や組織のあり方、働き方、生き方もこの“うねり”に適応しなければなりません。そこには新しい価値の創造が必然です。未知の課題、答えの無い答えを考え導き出す。0（ゼロ）を 1（イチ）にする。その力こそ、これから最も必要な「生きる力」だと考えます。

飯田高校の総合的な探究の時間「ゆめかな」はまさにその生きる力を育む活動に進化しています。テーマや手法は様々ですが、この能登をフィールドとして色々な活動から、個人や仲間と一緒に新しい真理を導くとともに、自ら感じ、自ら歩み、学び続ける心が育っています。その学びや気づきの中から、自分にも何か出来るのではないかと、やりたい、といった地域貢献意識が芽生え、地域愛に結びつき、故郷「能登」を支える人材になってくれることを願っています。

さて、今年度はオリンピックイヤー 4 年に 1 度の大舞台が用意されました。夏は東京で、冬は北京で開催され、選手の懸命な姿に心打たれるばかりでした。卓球混合ダブルスで打倒中国達成後の金メダルに歓喜し、陸上男子 400m リレーのバントラブルは虚脱感



直近の冬季大会はノルディック複合団体の 28 年ぶりの銅メダル、チーム力の爆発に感激し、スピードスケート女子パシュート銀メダルは悔し涙になりました。受験に立ち向かっていた人は勉強に集中していたと思いますが、他の皆さんはいかがでしたか。目標を達成した喜び、残念な結果となった悔しさも含めて全場が心に残りました。スポーツは人生の縮図ともいわれますが、やはり日々の積み重ねがあってこそ力が発揮できるのではないのでしょうか。次は皆さんの出番です。進学、就職と進む道は異なりますが、一人ひとりの人生の大舞台に歩み出す日となりました。

論語に次のような言葉があります。

子曰く、性（せい）相（あい）近きなり  
習（ならひ）相（あい）遠きなり

人は生まれながらに持っている力に差はないが、その後の努力の違いにより大きな差が出る。まさに、日々の地道な精進こそが、その後の人生に差を生む。だからこそこれからも学び続け、努力を積み上げていって欲しいと思います。

ところで、今年度は本校にとって大きな節目の年です。14 年間輝き続けた総合学科が閉科し、その実績をビジネスコースが引き継ぎ、飯田高校としても創立百十周年を迎え新しい一歩を踏み出します。

これからも能登の名門校として、人間力を育むことはもちろん、進学・就職など生徒全員の進路目標実現に尽力していきます。

皆さんも伝統校・飯田高校の卒業生として、自分を常に磨きながらも、周りに優しく、地域への貢献意識を持ちながら、逞（たくま）しく生きていってください。

# 令和3年度卒業生 各賞受賞者の紹介

新谷敏夫奨励賞は、心清く、日々の行い慎ましく世の人のために勤しみ励むことを日々心がける「清慎勤」の精神を体得し、学業において他の模範と認められる生徒に対する表彰です。勲四等瑞宝章を受章された新谷敏夫先生の遺志を受け、平成3年に設立されたこの賞は、飯田高校生にとって極めて大きな名誉となる賞です。今年度は2名の生徒に授与されました。

また、谷辰夫奨励賞は、「清慎勤」の精神を体得し、課外活動において顕著な成果を収めた生徒に対する表彰です。谷辰夫先生は飯田高校10回卒で、大学院修了後、大学や研究所で環境エネルギーシステムの研究に従事。再生型自然エネルギー利用技術や太陽電池の研究で東京理科大の名誉教授として活躍され、5年前には紺綬褒章を受章されました。また、関東同窓会の元会長として飯田高校同窓会の発展に大きく寄与されるなど、能登、珠洲、母校に寄せる思いは切なるものがあります。先生からは、ここ数年に渡って飯田高校の教育活動の充実のため、多大なご支援をいただけてきました。先生の支援は飯田高校生にとって日々の主体的、創造的な学校生活を後押ししてくれる力強い助けとなっています。今年度は3名の生徒に授与されました。

「同窓会長賞」は、学校内外の教育活動に積極的に参加し優秀な成績を収めた個人及び団体を表彰するものです。今年度は個人7名、2団体が受賞しました。

「皆勤賞」は、3年間、無遅刻・無欠席・無早退・無欠課を続けた生徒に贈られ、今年度は11名が表彰されました。

また、総合学科で優秀な実績を残した生徒に対して、専門教育に関連する協会から賞が授与されました。



## ◆新谷敏夫奨励賞

富田 雪乃 (3A) 藪 秀斗 (3D) 以上2名

## ◆谷辰夫奨励賞

坂東 孟 (3C) 中島 史稀 (3D) 山下 笑佳 (3D) 以上3名

## ◆同窓会長賞

### 【個人】

奥成 生弥 (3A) 亀山 千歳 (3B) 友廣 嘉生 (3B) 國永 美海 (3B)

藤村 真妃 (3C) 本谷 謙治 (3C) 浦野 遥翔 (3D) 以上7名

### 【団体】

ゆめかなプロジェクト「空き家」グループ

ウエイトリフティング部 (男子) 以上 2団体

## ◆皆勤賞

上野 紗衣 (3A) 太田 凜成 (3A) 高野 寿菜 (3A) 前 有紗 (3A)

浦下 真緒 (3B) 越後 芽育 (3B) 國永 美海 (3B) 田中 美颯 (3B)

濱塚 貴太 (3B) 青坂 崇大 (3C) 登岸 舞乙 (3C) 畑下 恋海 (3D) 以上12名

◇専門高等学校等御下賜金記念優良卒業生 藪 秀斗 (3D)

◇全国総合学科高等学校長協会会長賞 中島 史稀 (3D)

◇全国商業高等学校協会賞 新谷 里奈 (3D)

◇石川県商業教育グロリア賞 畑下 恋海 (3D)

◇全商検定1級3種目以上 3種目 藪 秀斗 (3D)

## 第2回学校評議委員会・学校関係者委員会

2月14日（月）本校において、第2回の学校評議委員会・学校関係者委員会が開催されました。この会は、年度初めに学校が掲げた目標に対して、どれだけ達成できたかや、地域の方や保護者の皆様に答えて頂いたアンケート結果をもとに令和3年度の飯田高校の取り組みを外部の方に意見を頂く会となっております。今年度は評議員として3名、また又多PTA会長ならびに櫻田副会長も関係者委員として参加して頂きました。



委員会の内容については、「キャリア教育」や「ゆめかなプロジェクト」（「総合的な探究の時間」）の話が中心となりました。「キャリア教育」については、「何のために勉強をするのか」「何のために働くのか」という本質の部分を学校のみならず企業側と意見交換ができるような交流の場が大事なのではないかという意見や、「ゆめかなプロジェクト」では、外部の関係者をもっと呼び込み、学校に何を提供できるのか、学校が何を求めているのか双方が考える必要があるとの意見も頂きました。

こういった貴重なご意見を来年度以降反映し、よりよい学校運営に繋げていきます。5名の出席者の方、本当にありがとうございました。

## 教員に向けた校内研修～GIGA スクール&保健厚生～

2月17日（木）、GIGA スクールの推進に向けた校内研修を行いました。研修では、ChromeBook を用いながら、主にオンラインミーティングアプリ GoogleMeet の活用方法について学びました。オンラインでの学習やコミュニケーションが当たり前になっている中で、本校としても、生徒に確かな学びを保障するためにICTの積極的な活用を一層進めていきたいと考えています。なお、3月中には、ついに全校生徒分のChromeBookが導入され、1人1台端末が実現する予定です。



また、2月21日（月）には「不登校生徒の理解と支援のあり方について」と題した校内研修を行いました。様々な課題を抱えて悩んでいる生徒に対して、注意深く気づくこと。そして、安心安全を与えながら「傾聴」することの大切さ。さらに、価値観を押しつせず相手に波長を合わせることを通じて、居場所作り・絆作りをし、自己肯定感を高めることなど、あるべき対応を確認しました。また、それだけでは解決しない場合の、様々な外部機関との連携のあり方や可能性を学びました。

## 「総合的な探究の時間」合同生徒発表会

2月10日（木）に、輪島高校・能登高校・飯田高校の3校合同で「総合的な探究の時間」合同生徒発表会をオンラインで開催しました。各校2グループの計6グループが発表を行い、本校からは「ゆめかなプロジェクト」グループのうち2グループが出場しました。

今後もこのような機会を設定することで、生徒がより探究的で発展的な学びに向かう意欲を向上させるとともに、学校の垣根を越えて協働的な学びを実現しようとする機運を高めていきたいと思ひます。



### 各校の生徒の発表テーマ

- 輪島高① 「幼児教育改革」
- 輪島高② 「輪島の魚を使ってラーメンをつくってみた！」
- 能登高① 「能登高校に地元の新鮮な水を送る会」
- 能登高② 「みさのとProject～半島革命P. P.～」
- 飯田高① 「とりあえずおどってみて分かったこと」
- 飯田高② 「お菓子で発信！珠洲の魅力」



## ゆめかな 3Dペン体験会

2月26日（土）飯田町にある「あさがおサロン（北川商店内）」にて、テレコムサービス協会様、クリパリンク様ご協力のもと、3Dペン体験会を行いました。

初めて使用する機材ということもあり、生徒は最初のうち慣れない様子でしたが、慣れてくると様々な作品の制作に挑戦する様子が見られました。



## 3月行事予定

日	曜日	行 事
1	火	第74回卒業式 学校だより発行 星霜第35号発行
3	木	※職員定時退校日
6	日	国公立大学前期試験合格発表
8	火	高校入学試験① 国公立大学中期試験
9	水	高校入学試験②
10	木	スタディーサポート（1・2年普） 基礎力診断テスト（1・2年ビ）
11	金	卒業生と語る会
12	土	国公立大学後期試験
15	火	球技大会
17	木	※職員定時退校日
18	金	個人写真（新2・3年）
20	日	国公立大学中期・後期試験合格発表
24	木	3学期終業式 離任式 春季休業中の生徒心得指導